

◆理学部生命科学科 カリキュラムマップ

教育研究上の目的

生命科学科は、理学部の目的に則り、教育においては、生物を構成する分子と細胞、さらには生物個体について、それらの構造、機能、相互作用などの教育を通して、生命現象を深く理解する人材を育成する。研究においては、生命科学の幅広い分野の基礎及び応用研究を通して、科学の進歩と社会の発展に貢献する。

ディプロマ・ポリシー

(知識・技能)

- 1 生物を構成する分子と細胞、生物個体の構造、機能、相互作用などに関する知識を有し、生命現象を深く理解することができる。
- 2 生命科学の基本的な知識の学習と本格的な実験を通じて、生命科学の知見と方法を様々な局面に適切に応用する力を身につけている。
- 3 課題解決に必要な方策を提案・遂行する力を身につけている。

(思考・判断・表現)

- 4 物事の根本を論理的・実証的に分析・考察する能力を身につけている。
- 5 分析・考察の結果を総合し実地に活かす技能、考えや知識を他人に的確に伝える技術を備えている。
- 6 生物学を中心とする自然科学の知識と原理に遡って自然や社会における対象の本質を分析し、実証的な調査・研究を通じて課題を解決に導くことができる。
- 7 全地球的な視点に立って、科学・技術が自然環境や社会に及ぼす影響を自立的に判断できる。

(関心・意欲・態度)

- 8 社会、文化、地球環境の観点から科学・科学技術の役割と責任を論じることができる。
- 9 培った能力・経験・知識を活用し、世界的な視野をもって社会に貢献することができる。

分野系列	科目名	単位	履修年次	知識・技能			思考・判断・表現			関心・意欲・態度		
				1	2	3	4	5	6	7	8	9
[理学部専門科目(必修)]	数学基礎1	2	1			◎	◎					◎
	数学基礎2	2	1			◎	◎					◎
	物理学基礎	2	1			◎	◎					◎
	化学基礎	2	1			◎	◎					◎
	生化学1	2	1	◎			◎					◎
	生化学2	2	1	◎			◎					◎
	分子細胞生物学1	2	1	◎			◎					◎
	動物科学	2	1	◎			◎					◎
	植物科学	2	1	◎			◎					◎
	基礎科学実験1(生命科学)	2	1		◎					◎		◎
	基礎科学実験2(物理)	1	1		◎					◎		◎
	基礎科学実験2(化学)	1	1		◎					◎		◎
	分子細胞生物学2	2	2	◎				◎				◎
	分子細胞生物学3	2	2	◎				◎				◎
	分子細胞生物学4	2	2	◎				◎				◎
	生物物理化学1	2	2	◎				◎				◎
	生物物理化学2	2	2	◎				◎				◎
	有機化学基礎1	2	2	◎				◎				◎
	有機化学基礎2	2	2	◎				◎				◎
	発生生物学	2	2	◎				◎				◎
	生命科学実験1	2	2		◎					◎		◎
	生命科学研究法1	2	3			◎	◎					◎
	生命科学実験2	8	3		◎					◎		◎
	生命科学実験3	8	3		◎					◎		◎
	生命科学演習1	2	3	◎					◎		◎	
	生命科学演習2	2	3	◎					◎		◎	

分野系列	科目名	単位	履修年次	知識・技能			思考・判断・表現				関心・意欲・態度	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9
	生命科学輪講	4	4			◎		◎			◎	
	生命科学特別研究	10	4			◎		◎			◎	
[生命科学科専門科目(付表)]	バイオインフォマティクス	2	2~4	◎			◎					◎
	生態・環境科学	2	2~4	◎						◎	◎	
	分子進化学	2	3~4	◎						◎	◎	
	放射線生物学	2	2~4	◎						◎	◎	
	野外生命科学1	2	2~4	◎			◎					◎
	野外生命科学2	2	2~4	◎			◎					◎
	生命科学研究法2	2	3~4	◎			◎					◎
	生命科学研究法3	2	3~4	◎			◎					◎
	創薬科学	2	3~4	◎			◎					◎
	免疫生物学	2	3~4	◎			◎					◎
	ヒトの生物学	2	2~3	◎			◎					◎
	神経科学	2	2~3	◎			◎					◎
	植物分子生理学	2	3~4	◎			◎					◎
	生物工学	2	3~4	◎			◎					◎
	科学英語演習	2	3~4			◎		◎				◎
基礎教養科目	生物学Ⅰ	2	1~4	◎						◎	◎	
	生物学Ⅱ	2	1~4	◎						◎	◎	
	生命社会学Ⅰ	2	1~4	◎						◎	◎	